

平成29年度

久留米市民意識調査報告書 概要版

# 「久留米」って？

愛着がある

77.9%

住みやすい

83.3%

住み続けたい

72.2%

住みやすい  
と思う理由は



- 1位 買物や飲食など日常生活に便利
- 2位 医療や福祉が充実している
- 3位 緑や自然が多い

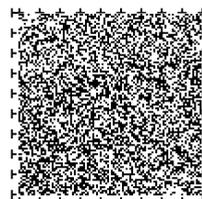
くるっぽ

久留米市  
イメージキャラクター



久留米って、住みやすい？  
久留米って、どんなまち？

市民の皆さんの意見をお聞きし、市政に反映させる  
ために市民意識調査を実施しました。



# ◎久留米市に住んで どう思う？

子育てしやすい

78.0%

季節感に  
あふれている

85.8%

心豊かに生活できる

68.1%

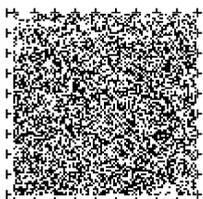
外で活動しやすい

62.1%

人権に対する感覚  
を高めたい

55.2%

季節を感じられる、  
子育てしやすいまち  
と感じている人が  
多いみたいですね。



# 安全安心のまちづくり

## 安全で安心して暮らせる

74.1%



市と地域が協力して  
みんなが安全安心に  
暮らせるようにすること  
が必要なんですね。

## 安全安心のまちづくりは 市と地域が協力することが必要



86.2%



市民や各種団体との協働により、平成25年にWHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティ国際認証を取得しました。けがや事故の予防を地域社会で進める安全安心なまちづくりに取り組んでいます。

みんなで取り組む  
安全安心まちづくり



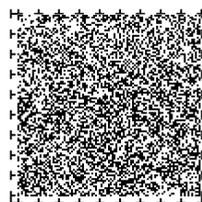
セーフコミュニティ  
国際認証都市 久留米市

## 高齢者などの見守りは 市と地域が協力することが必要

89.8%



くるめ見守りネットワーク  
高齢者などのお住いの異変（郵便受けに新聞や郵便物が溜まっているなど）に気づいた時には、「くるめ見守りほっとライン」（TEL）0942-30-9339へ。毎日24時間受付しています。

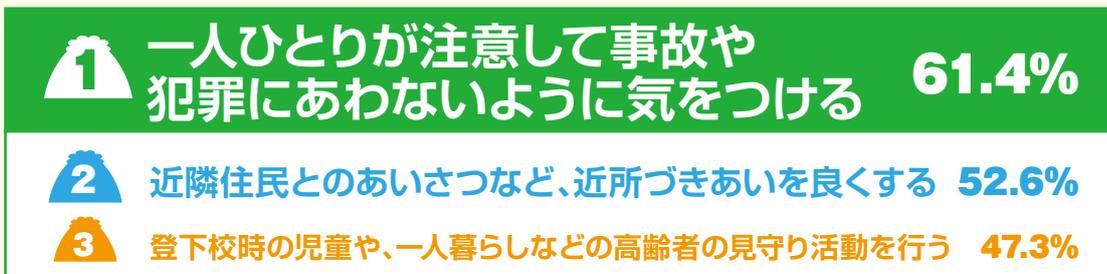


# 安全安心のまちづくり

## ふだんの生活で不安に感じること

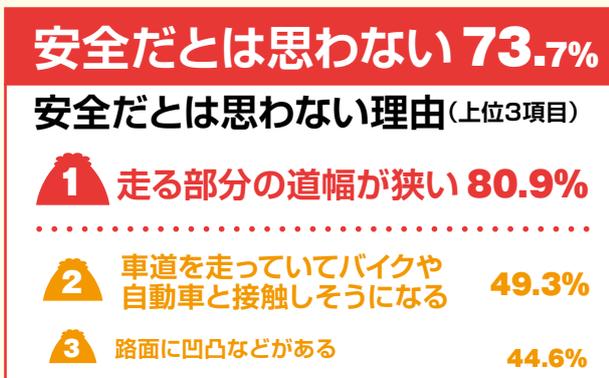


## けがや事故、犯罪などを防ぐために個人や地域で行うことが必要な取り組みや対策

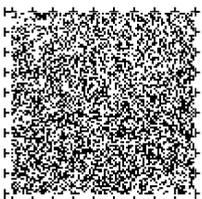
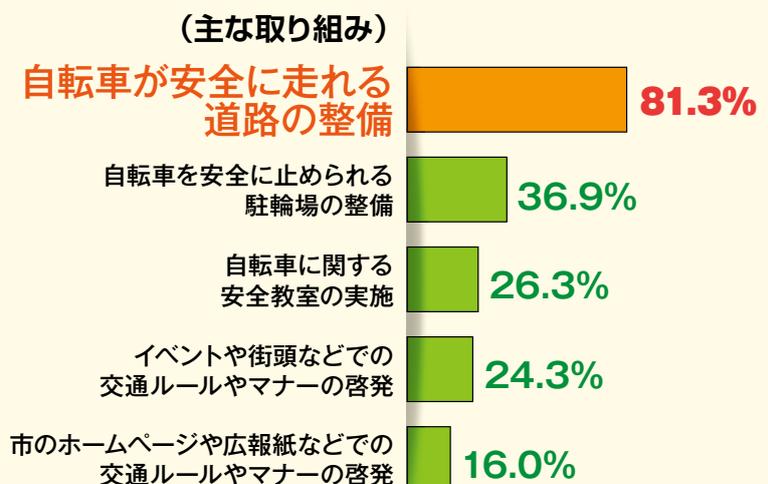


## 市内の道路は自転車利用に安全だと思う

19.4%



## 安全に自転車を利用するために必要な取り組み

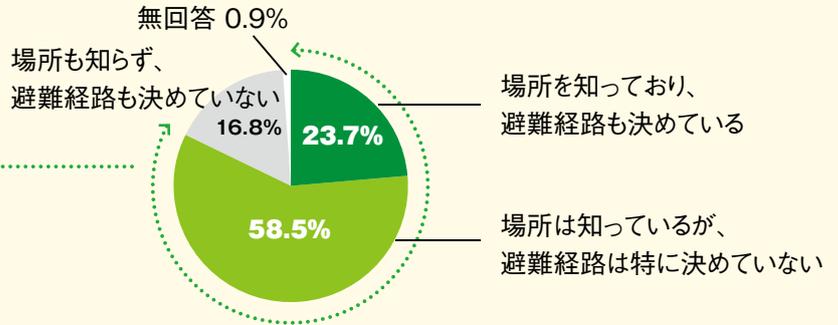


# 犯罪、事故、災害を防ぐ

## □ 自宅近くの避難所※を知っている

※自然災害(台風・大雨・地震など)発生時に開設されます。

82.2%



## □ 災害時のために水や食料の備えを3日以上している

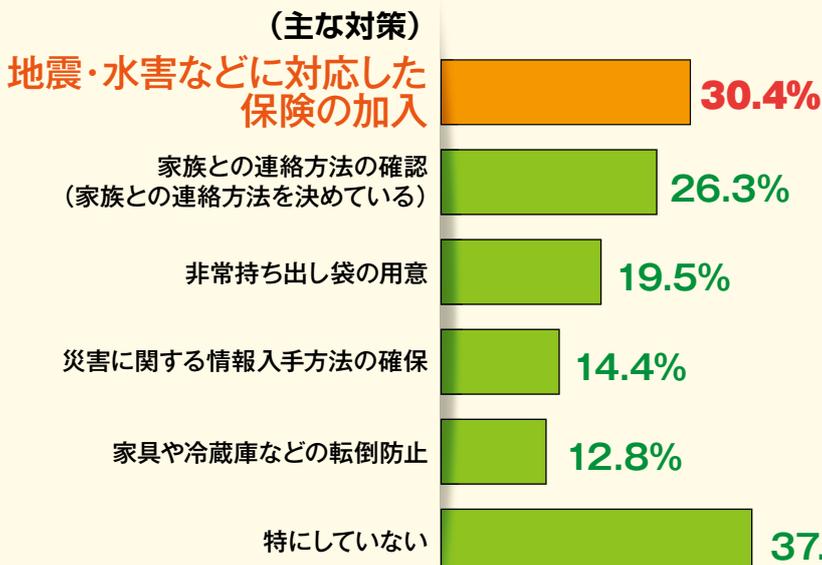
水 12.1%

備えは、1日分 17.6%  
2日分 15.0%

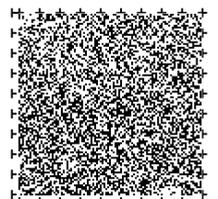
食料 14.3%

備えは、1日分 16.0%  
2日分 17.7%

## □ 家庭で行っている防災対策



まず一人ひとりが備えること。そして、行動することが大切なんだよ。



# 安全安心のまちづくり

## 児童虐待内容の認知度

92.6%



### ◆児童虐待の例◆

**身体的虐待**: 子どもを叩く・蹴る など

**性的虐待**: 子どもにわいせつなものを見せる など

**ネグレクト**: 乳幼児を家に残して外出する、子どもに食事を与えない など

**心理的虐待**: 子どもを大声でどなる、子どもに見える場所で他の家族に暴力をふるう など

## 小・中学校で力を入れてほしい「子どもの安全」への取り組み



いじめの未然防止、早期発見・対応のための取り組み(アンケートや教育相談など)

68.4%



交通事故を防止するための安全教育(交通安全教室など)

57.6%



不審者の対応の仕方を身につける防犯教育(防犯教室など)

48.6%

## DV(ドメスティック・バイオレンス)内容の認知度

92.8%



### ◆DVの例◆

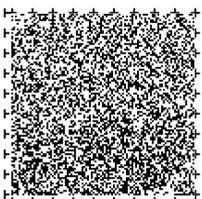
**身体的暴力**: 殴る、蹴る、首を絞める など

**精神的暴力**: 「誰のおかげで生活できていると思っている!」と言う、大声で怒鳴る、何を言っても無視する など

**性的暴力**: 望まない性交渉を強要する、避妊に協力しない など

**経済的暴力**: 生活費を渡さない、生活費を細かくチェックする など

**社会的暴力**: 身内や友人との付き合いを制限する、携帯電話・スマートフォンの履歴やメールを細かくチェックする など



### 困った時や悩んだときは

久留米市男女平等推進センター (TEL)0942-30-7802

DVや離婚等、女性のための総合相談事業を行っています。

こども子育てサポートセンター(家庭子ども相談課) (TEL)0942-30-9302

母子保健や子育て支援、18歳までの子どもと家族の育児に関する窓口です。

# 健やかな家庭環境を

不安や悩み、ストレスを  
ここ1カ月間に抱えたことがある

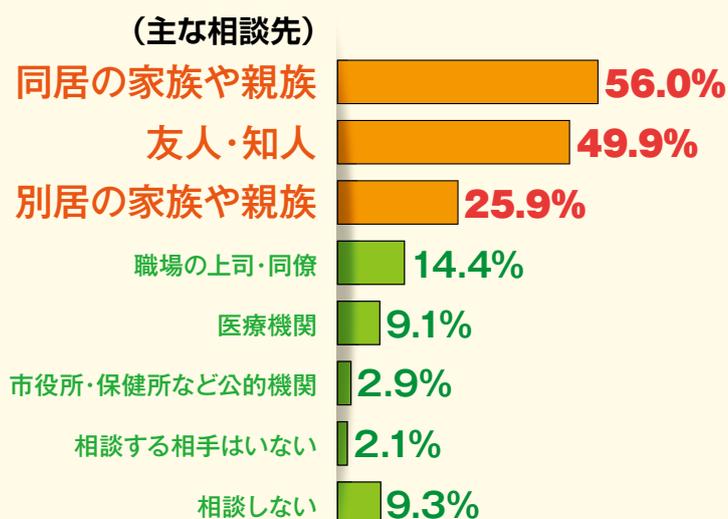
62.2%



## 不安や悩み、ストレスの原因(上位4項目)

1	仕事に関すること (仕事の悩み、職場の人間関係など)	47.4%
2	家庭に関すること(家族関係、子育て、家族の介護など)	43.6%
3	健康に関すること(身体・こころの病気など)	40.6%
4	経済的な問題に関すること(金銭関係など)	35.7%

## 不安や悩み、ストレスを抱えた場合の相談先

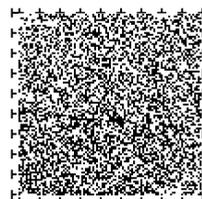


不安や悩みは一人で抱え込まずに、誰かに話すことが大事なんだね。



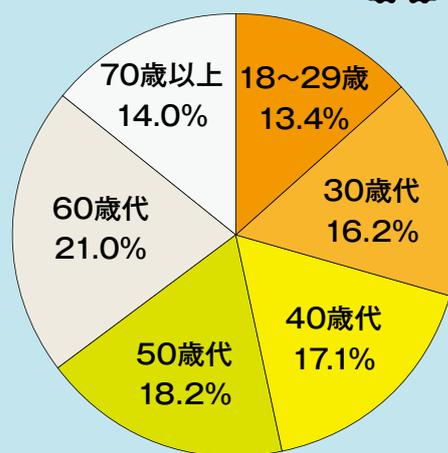
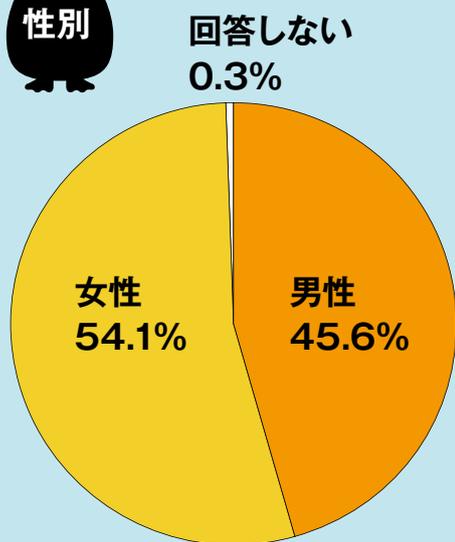
### 心の悩みで困ったときは

久留米市保健所保健予防課 精神保健チーム (TEL)0942-30-9728  
心の健康に関する悩み、うつや不眠、アルコール問題などに関する相談を行っています。



# 調査対象者の構成

多くの市民の皆様にご協力いただき、ありがとうございました!



## 「久留米市民意識調査」について

久留米市では、市民の皆さんの意向や要望などを把握するため、昭和52年から毎年、市民意識調査を実施しております。第41回となる平成29年度では、「行政施策」「安全安心のまちづくり(セーフコミュニティ)」「障害者福祉」「中心市街地活性化」について、ご意見をうかがいました。詳細な結果と分析は報告書にまとめ、今後の市政運営の基礎データとして活用します。

### ■調査の概要

◇調査地域	久留米市全域	◇調査対象者	久留米市に在住する満18歳以上の人
◇サンプル数	2,000	◇抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
◇実査方法	郵送法併用の留置法	◇実査期間	平成29年6月29日~7月11日
◇回収数(率)	1,765票(88.3%)		
◇調査の企画と実施	〈企画〉久留米市協働推進部 広聴・相談課 〈実施〉西日本新聞社 お客さまセンター		

### ■発行

平成30年1月

### ■お問い合わせ

《編集・発行／調査主体》久留米市 協働推進部 広聴・相談課  
 久留米市城南町15番地3 (TEL)0942-30-9015 (FAX)0942-30-9711  
 E-Mail : sodan@city.kurume.fukuoka.jp

※本報告書及び本概要版は久留米市ホームページに掲載いたします。  
 URL : <https://www.city.kurume.fukuoka.jp/index.html>

